

## 令和4年度第3回神奈川県観光審議会議事録

日時：令和4年11月22日（火）10時から12時まで

開催場所：波止場会館4階大会議室

出席者：古賀学【会長】、佐藤守【副会長】、露木清勝【副会長】、岩本裕美、大場好浩、岡崎三奈、佐々木隆博、荷見篤志、藤田謙、室伏ゆかり、楓千里、桐生勇、いそもと桂太郎、国松誠、松本清、渡辺ひとし、宮崎明男 ※敬称略

### 1 開会

- 開会あいさつ（香川国際文化観光局長）
- 観光振興担当部長が委員数20名に対し、2分の1を超える17名の出席を確認し、審議会が成立すること、傍聴希望者がいないことを報告。

### 2 議題

- (1) 神奈川県観光振興条例の改正骨子案
- (2) 神奈川県観光振興計画の県民意見反映手続き・市町村照会の結果

（資料1に基づいて事務局から説明）

#### ○ 古賀会長

神奈川県観光振興条例の改正骨子案として事務局が資料で提示した案のとおりとしてよいでしょうか。

（異議なし）

#### ○ 古賀会長

ご承認をいただきました。今後は、改正骨子案の内容について、次の常任委員会で報告するというように、事務局より聞いております。

議題（1）の「神奈川県観光振興条例の改正骨子案」は以上となります。

続いて議題（2）「神奈川県観光振興計画の県民意見反映手続き・市町村照会の結果」につきまして、事務局より説明をお願いします。

（資料2に基づいて事務局から説明）

#### ○ 古賀会長

それでは、「神奈川県観光振興計画の県民意見反映手続き・市町村照会の結果」について、審議を行います。

まずは、資料2の2ページにある「A 計画に反映するもの」について、反映に係る考

え方についてご意見を伺います。

誤りの指摘は、訂正すればよいので、それ以外で判断が必要なものについて、お聞きします。

○ 岡崎委員

改定素案の9ページについて、「4つの基本施策ごとに具体的に整理すべき」という意見に対しては、具体的にはどう整理されるのか確認させてください。

○ 渡辺委員

岡崎委員の意見に関連して、改定素案9ページをみるとアのなかには4つの基本施策が分けて書いてあるが、イ、ウ、エの表現が分かりにくい。基本施策ごとに説明をすれば、分かりやすい記載になると思います。

○ 事務局

委員ご指摘のとおり、基本施策1から4までの取組がどのようなものか分かりにくいということから、このような意見があったものと推測します。記載内容は、変える必要はないと思いますが、4つの施策ごとに分けて記載するように対応します。

○ 古賀会長

資料2の2ページに「訪日外国人客」と「海外からの観光客」の2つが混在しているので統一すべき」という意見がありましたが、仕事など観光以外でも日本を訪れた人を含むのが「訪日外国人客」で、そのうち観光目的の方が「海外からの観光客」という分け方になるのでしょうか。分けることができるものなら、統一の必要はないということも言えるのではないのでしょうか。

○ 事務局

現状の統計調査では、観光客に限定した数字が取れないので、「訪日外国人客」で統一ができればと考えています。

○ 古賀会長

記載を統一するというよりも「訪日外国人客」とは何を示しているのかという問題があると思います。

○ 大場委員

例えば、MICEで来訪する外国人は、2週間くらい滞在している間に、会議に主席するのが3日か4日くらいで、残りは家族と観光をするなどしており、仕事と観光が混在しているので、「訪日外国人客」という言い方でよいのではないのでしょうか。

○ 岡崎委員

改定素案に記載されている「海外からの観光客」という文言が、具体的にどこに使われているのか、事務局で把握されているのであれば、それらが、どのような文脈で使われているのか整理すればよいのではないかと思います。

○ 古賀会長

岡崎委員の意見は、文脈によって使い分けすべきというご意見かと思えます。例えば、統計を使うときには、「訪日外国人客」とし、観光客に切り分けができるのであれば、「海外からの観光客」としてもよいのではないのでしょうか。

○ 渡辺委員

資料2の3ページには、「専門用語等についてはわかりやすい表現に改める」という記載があります。例えば、改定素案のなかで、分かりにくい専門用語の例をあげてもらって確認をさせてください。また、対応方法としては、どのように考えるのか教えていただきたい。

○ 事務局

例えば「ユニークベニュー」という言葉はMICEに関連する用語ですが、一般的には分かりにくいと考えられます。また、DMOやレップなども、分かりにくい用語ではないかと思っています。対応方法としては、日本語でわかりやすい言い換えること、注釈をつけることなどを検討していきます。

○ 楓委員

「訪日外国人客」と「海外からの観光客」を統一するかどうかという意見ですが、「外国人観光客」という表記もあり、観光庁からの資料は「外国人観光客」、「外国人宿泊客数」、「外国人消費単価」という言葉が出てきますが、この「外国人観光客」も、「訪日外国人客」に統一するのでしょうか。

○ 事務局

統計で使われている言葉であれば、それはそのまま使っていきます。使い分けについては、古賀会長からも話がありましたけれども、その言葉がふさわしい場面において、使い分けを行っていきます。

○ 宮崎委員

観光庁からは、「訪日外国人旅行者数」という統計も公表されていますので、参考としていただければと思います。

○ 古賀会長

「D 計画反映できないもの」についてのご意見をいただきたいと思います。

○ 岡崎委員

資料2の4ページ「人流が多い」という表現は観光が否定されている感があり業界では馴染まない。集客とした方がよい」という意見について、「人流」という言葉自体が観光関連においても、最近になって使われる頻度が高くなった言葉なので、どのような意味で使うのか、補足の説明があった方が良くと思います。

○ 佐藤守委員

これまで、観光の調査は入込観光客調査など定点調査が主なもので、一点の調査から全体を推測するようなものが多かったように思います。一方で、人流データは、スマートフォンの位置情報等を使って、継続的に人の流れを追えるものになっています。人流データはこれまでの定点調査とは、次元が違うものであることは、明確に区別すべきです。

本計画で記載のある「人流」は、人流データのことであると思うので、注釈などをつけて説明したらどうでしょうか。

○ 古賀会長

事務局から説明はありますか。

○ 事務局

本計画では、データに基づく施策展開を行っていきますが、人流データは、定点調査では分からない、観光客の動きが分かるものなので、しっかりデータを取得して分析をしていきます。本計画も、そのような趣旨で人流という言葉を使っているのので、佐藤委員のご指摘のとおり、注釈などにより分かりやすい表現にします。

○ 古賀会長

それでは、本計画において「人流」がどのような意味で使われているのか、説明をお願いします。

他に何かありますでしょうか。

○ 楓委員

「かながわの名産100選」と「かながわブランド」それぞれの取組が違い、意見を計画に反映させないということには異論はありません。しかし、改定素案の72ページの「かながわブランド」の普及推進の書きぶりは、魅力の発信・ブランド強化という点だけが書かれており、県民意見への対応にある「「かながわブランド」を特産品の流通の面から支援す

るものである」という趣旨が読み取れないのですが、整合性を取った方がいいのではないのでしょうか。

○ 事務局

かながわブランドは環境農政局の所管になります。確かに、改定素案では、「かながわブランド」は農業振興の趣旨しか書かれていないので、楓委員のご指摘を踏まえて、環境農政局と調整した上で、書きぶりが十分かどうか確認します。

○ 古賀会長

次に、資料2の4ページ市町村照会ですが、「A 計画に反映するもの」はいかがでしょうか。

○ いそもと委員

「神奈川が誇る」を削除するという意見ですが、理由が分かれば教えていただきたい。

○ 事務局

鎌倉は世界遺産をめざしており、神奈川に留まらず、日本を代表する観光地として意識していきたいという意向があったので、ここでは、「神奈川が誇る」という記載を削除したいということでした。

○ 古賀会長

この点について意見はありますか。

(意見なし)

○ 古賀会長

次に、「D 計画に反映できないもの」について何かありますか。

○ 渡辺委員

資料2の5ページ「シェアサイクル事業」に対する意見について、県の対応では、「県の取組でないことから、修正はしない」としています。県の取組であっても、市町村に対する配慮も必要ですし、本計画の期間が4年間であるので、4年間の間に、湘南エリアだけでなく近接しているエリアに広がっていく可能性は十分にあると思われ、また広げていけないといけない。そうであれば、具体的な地名を入れるかどうか別として、市町村の取組と連携ができるような幅広な表現にしてはいかがでしょうか。

○ 岡崎委員

渡辺委員の意見に関連して、シェアサイクルについては、横浜もかなり前から実証実験

をしています。

「湘南地域において」と文章の冒頭にありますが、今後、シェアサイクルについては、しっかり考えていく必要があるので、地域を限定する必要はないのではないかと思います。

#### ○ 事務局

湘南地域のシェアサイクル事業は、湘南地域の横の連携が希薄であり、江ノ電の混雑もあいまって、オリパラの機運も高まったなかでスタートしたものです。湘南地域を横につなげようということで、湘南地域の市町に呼び掛けてこの事業が始まり、名称も湘南地域となりました。

事業が始まり、数年経過して、北に伸ばしていこうという動きもあります。相模川の左岸にグリーンラインという自転車道も整備されています。海老名方面に伸びる道路を県土整備局で整備しているところなのですが、周辺の市町を取り込んでいくようなことも考えられます。発端は湘南地域ですが、今後、湘南以外の地域も入ってくるかもしれない。そうすると名称自体も考え直さなければならない可能性があります。

今後は、他地域に広がる可能性があります。現時点のものとして、湘南地域と記載しているところです。

#### ○ 岡崎委員

横浜市は、シェアサイクル等自転車の活用は道路局と都市整備局が対応しています。ここ3年ほどはコロナ禍で、自転車利用がひとつのブームになったのですが、横浜市と横須賀市で自転車を使った相互送客といった試みもしています。現状、県では湘南地域に限るかもしれませんが、それぞれの市町村の動きがあるので、本計画でも位置づけていただければと思います。

#### ○ 事務局

計画としては、あまり市町村の取組を制約したくないという思いもあり、市町村の取組は入れていないところです。

しかし、ご意見をいただいたので、市町村において取組が進んでいるということで、「湘南地域において」を削除して、「公共交通機関等と連携し」からはじめて、一般的な言い方にするというのも一案かと思っております。

#### ○ 岡崎委員

その考え方でよいと思います。

#### ○ 古賀会長

市町村において、取組が進んでいるということで、「湘南地域において」を削除すると

いうことでよいでしょうか。

○ 渡辺委員

「湘南地域において」を削除することに賛成です。そうすれば、最後の行の「県内を訪れる観光客の周遊観光を促します。」という表現に合うのではないかと思います

○ 古賀会長

それでは、「湘南地域において」を削除して「A 計画に反映するもの」として扱うということではよいでしょうか。

(異議なし)

○ 古賀会長

他に何かありますでしょうか。

○ 桐生委員

改定素案の52ページカの満足度について「歴年」となっていて、その他のものが「暦年」となっているのですが、違いはありますか。

また、改定素案の46ページですが、アの観光消費額総額で、2019年が1億1,148万円となっていて、48ページのアの2026年度の観光消費額総額が1兆1,707億円を目標にするところあるのは、急激に金額が上がっているように見えます。

○ 事務局

46ページのアは、億ではなく兆が正しいので修正します。その他の文言や単位等については全体的に見直しを行い、誤りがあれば修正するようにいたします。

○ 楓委員

改定素案69ページ、⑨「サステナブルツーリズムの促進」があります。持続可能というフレーズがクローズアップされてきていますが、様々なツーリズムがサステナブルであるべきと考えますので、(1)「多様なテーマに沿って県内来訪を促すツーリズムの推進」を、(1)「多様なテーマに沿って県内来訪を促すサステナブルツーリズムの推進」にして、その他のツーリズムをぶら下げた方が収まりがよいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 岡崎委員

楓委員の意見に賛成です。⑨サステナブルツーリズム自体は①から⑩と並列される項目でないと思います。

○ 藤田委員

県民意見反映手続については、地域ごとの思いを踏まえた要望、ご意見がありますが、各市区町村に観光に携わっている方々に、この資料は共有する予定はありますか。例えば、「丹沢大山に関しての観光消費額はどうしたら増えるのか」というご意見に対しては、小田急電鉄に関わる意見もありました。とても参考になるご意見かと思えます。伊勢原市、厚木市、秦野市とも連携を進めていますので、行政の方々にもこの情報を共有させていただき、連携して具体的な施策につなげていければと思います。

○ 事務局

県民意見反映手続は、市町村を含め、広く公表をする予定です。また、改定素案にもあるとおり、データ分析結果等も市町村にフィードバックをしていきます。市町村とともに、観光振興により地域の活性化につなげていきたいと考えております。

○ 古賀会長

その他に意見はありますか。

ないようであれば、審議の中で修正する内容がいくつかあったかと思うのですが、その対応については会長に一任させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 古賀会長

ありがとうございました。そのようにいたします。

○ 楓委員

ひとつ追加をよろしいでしょうか。神奈川県観光振興計画は国内でも注目されるはずで、発表された後は県外の方も参照の機会があるかと思えます。是非とも判りやすい地図を掲載していただきたいです。例えば、すでに県で作成した道路や鉄道地図などがありますので上手く加工できるかと思えます。掲載の方法については、工夫していただければと思います。

○ 古賀会長

そのことについても、合わせて検討していただきたいと思えます。

それでは、今後につきましては、今回会長に一任させていただき内容を次の常任委員会に報告すると事務局から聞いておりますので、本日の審議をふまえて、議会に報告したあと、改定案を作成していくこととなります。

なお、改定案につきましては、次回に観光審議会であらためて審議を行う予定にしておりますのでよろしく申し上げます。



以上で、今日の議題はすべて終了いたしました。

ありがとうございました。最後に、明日までに行う、県のホームページに掲載する「審議速報」についてです。本日の開催概要としまして、①開催日時、②開催形式、③出席者氏名、④審議の議題及び結果について掲載をいたします。議題及び結果については、本日の議題(1)～(3)について「事務局から説明を受け、質疑応答、意見交換を行った。」とだけ記載させていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 古賀会長

それでは、説明した内容で「審議速報」として掲載をいたします。

○ 事務局

それでは、事務局で現在想定しているスケジュールについてお知らせいたします。本日、いただいたご意見につきましては、内容を反映させて、関係各所と調整をさせていただいたうえで、12月の国際文化観光・スポーツ常任委員会に報告をしております。

なお、本日の審議において、改定素案に数字や標記の誤りがございました。これにつきましては深くお詫びを申し上げます。しっかり確認をいたしまして、訂正をしております。

次回令和5年1月以降に予定しております観光審議会ですが、観光振興計画の改定案を中心にご審議いただくことを想定しております。次回の開催が近づきましたら、改めてご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以 上